

留学先国名 : アメリカ

留学先学校名 : Merced Community College

留学期間 : 平成 28 年 8 月 15 日 ~ 平成 29 年 5 月 26 日

私は、関西外国語大学短期大学部の短期大学部学位留学生として、2 学期間（約 10 か月間）、カリフォルニア州にあるマーセッドコミュニティカレッジに留学しました。マーセッドはヨセミテ国立公園の近くにあり、サンフランシスコから車で 3 時間ほどのところに位置しています。マーセッドの人々は気さくで話しやすい人が多く、とても住みやすいところだと感じました。私が通ったマーセッドコミュニティカレッジには、幅広い年齢層の生徒がおり、専攻も国際学やビジネス系はもちろん、看護やエンジニアまで幅広いため、自分とは違う分野を学んでいる生徒と意見交換が出来ることから、留学中は新しい発見の多い日々を過ごすことが出来ました。滞在中はホームステイをしていたのですが、ホストファミリーが素晴らしい方々だったので一緒に生活をしていく中でアメリカ人の家族に対する考え方や自国に対する考えなどを間近に知ることができ、大変貴重な機会となりました。

学校生活では、1 学期目の最初の授業で、まだアメリカに来たばかりで慣れておらず緊張していたのもありましたが、自分の英語に対する自信の無さや周りの意見に対する不安感が授業中の発言に出たことで教授に伝わってしまい、教授から「あなたの居場所はどこではない」と言われてしまうという苦い経験をしました。その後も何回か授業には参加しましたが、結局同じ科目の別の教授の授業に移ることとなりました。この出来事を通して、自分の弱さを知り、またその悔しさから変えた別の授業でも必死についていき、最終的には自分が納得のいく成績を取ることが出来ました。アメリカではその人がどこから来たとか、アメリカにどれくらい居るのかとかは全く関係なく、その人の能力次第で評価されることが多いため、この留学生活を通して少しは生き抜く力がついたのではないかと感じています。

また、これはよく知られている事ですが、アメリカではディスカッション形式の授業が多く、アメリカで学ぶ生徒は日本で学ぶ生徒より積極性が高い印象を受けました。例えば、アメリカ史の授業では、ただ歴史上の事実を学ぶのではなく、もし南北戦争で南軍が勝っていたら今頃どうなっているか、などの議題で意見交換をしたりします。これは、国の歴史を自分のものとして考えなければ、なかなか答えられません。アメリカの生徒は他の生徒から反論されようが、自分の意見をしっかり言うことが出来ます。それが出来るのは、発言をするということに慣れているということもありますが、教授の授業づくりにも要因があるなと感じることが多くありました。教授は、生徒の意見一つ一つに理解を示し、また教授の持つ知識から新たな情報を生徒に与えるのです。生徒を巻き込む力が高い指導者が多くいるため、授業に本当の意味で参加することが出来るのがアメリカの教育なのだなと個人的に感じました。

この留学中に学んだことは、上記の学習面だけではなく、日常生活の至るところその他の面でも多くありました。私はそれらを今後社会に出ていく上で、どこに行っても生き残れる人材になれるように活かしていきたいと考えています。

最後に、これから留学する方へ少しアドバイスをさせていただければと思います。まず、留学をする上で大事になってくることは、自分がどれだけ情報を持っているかです。出発前でいうと、現地の気候や危険地域など体調管理や身の安全のための情報や、留学中は、留学後自分にどのような将来の選択肢があるのかなどの情報です。しかしながら、ただ情報を集めればいいというのではなく、その情報の信憑性を確かめるということが必要です。ちょっとしたことですが、留学中はこれがとても大事なことだと実感しました。

次に、一行でもいいので毎日何かしらの日誌をつけることをお勧めします。留学中は、人によりますが、辛い時期が学習面でも生活面でも結構あると思います。そんな時に、毎日、日誌をつけていれば、今の自分と過去の自分を比較することができ、あの時は大変だったけどなんとかここまで来ることが出来ただから、今回も乗り越えられるだろうと思うことが出来ます。また、辛い時でなくても、留学後に自分がどんな生活を送っていたのかを日誌を通していつでも知ることが出来るので役に立つ事が多く、是非とも日誌をつけることをお勧めします。

最後のアドバイスは、悔しさを大事にするということです。私の経験から言うと、自分が思うようにならないジレンマやもう少し上手く出来たのという悔しさを感じることは留学中多くありました。その悔しさを感じた時に、次に同じような状況になった時は、こうするというシナリオを考えておいて、次の機会に、それを試してみるということをよくやっていました。何か自分にとって厳しい状況になった時に、自分はダメだと落ち込んで終わるのか、それとも言葉は悪いですが、「なにくそっ！」と悔しがってそこから違う手を考えるのかでは、後者の方が断然次に繋がります。なので、悔しさを大切にすると、留學生活も充実していくと思います。以上の三点が、私が留学を終えて、これから留学する方々に伝えておきたいことです。